

**TOYO TIRES**

**2022年度第3四半期  
決算説明資料**

2022年11月14日

**TOYO TIRE 株式会社**

**1. 2022年度 第3四半期実績**

2. 2022年度 通期業績予想

3. トピックス

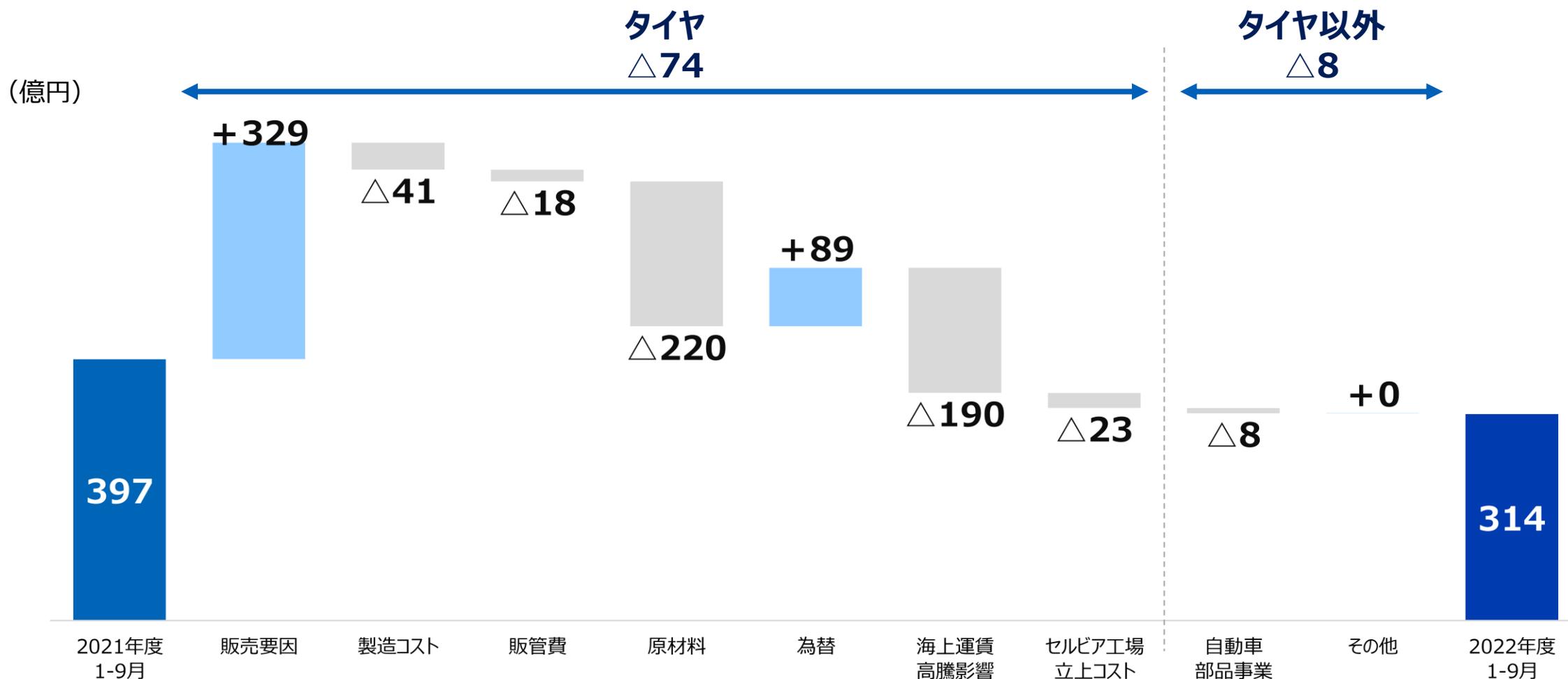
- 米国市場での価格改定や円安効果により、  
第3四半期は単独（7-9月）・累計（1-9月）ともに**売上高は過去最高を更新**  
\*従来の第3四半期単独最高売上高 : 1,066億円（2015年度）  
従来の第3四半期累計最高売上高 : 3,010億円（2015年度）
- 米国工場における操業度低下、地域・商品ミックスの悪化により、  
第3四半期単独の営業利益は**54億円と想定を下回る**
- 第3四半期累計では、為替の円安効果等により経常利益は**453**億円、純利益は**448**億円と  
それぞれ**第3四半期累計では過去最高\***を記録  
\*従来の第3四半期累計最高経常利益 : 418億円（2021年度）  
従来の第3四半期累計最高純利益 : 289億円（2021年度）
- 第3四半期までの業績を踏まえ、**通期営業利益予想**を 500→**400**億円へ
- 1株あたり配当金は、従来予想の年間 **80円**を維持

(百万円)	2022年度 1-9月実績	2021年度 1-9月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-6月実績	対前年度 増減額	2022年度 7-9月実績	対前年度 増減額
売上高	<b>350,430</b>	282,808	+67,622	+23.9%	223,667	+37,274	126,763	+30,347
営業利益	<b>31,391</b>	39,663	△8,272	△20.9%	25,972	△985	5,419	△7,286
営業利益率	<b>9.0%</b>	14.0%	—	—	11.6%	—	4.3%	—
経常利益	<b>45,288</b>	41,781	+3,506	+8.4%	38,509	+9,289	6,778	△5,783
四半期純利益	<b>44,768</b>	28,866	+15,901	+55.1%	31,030	+10,356	13,738	+5,545

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

米ドル	<b>126円</b>	108円	+18円
ユーロ	<b>135円</b>	130円	+5円

# 2022年度第3四半期累計 営業利益増減要因（前年度比）



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃 高騰影響	セルビア工場 立上コスト	自動車 部品事業	その他	合計
1-3月実績	+157	△11	△7	△70	+29	△59	△6	△0	+0	+34
4-6月実績	+109	△18	△6	△72	+25	△74	△5	△4	△0	△44
7-9月実績	+63	△13	△5	△78	+35	△57	△12	△4	+0	△73

# 2022年度第3四半期累計 事業セグメント別情報

(百万円)

売上高	2022年度 1-9月実績	2021年度 1-9月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-6月実績	対前年度 増減額	2022年度 7-9月実績	対前年度 増減額
タイヤ	320,114	253,968	+66,145	+26.0%	203,936	+37,448	116,177	+28,697
自動車部品	30,249	28,816	+1,433	+5.0%	19,721	△163	10,528	+1,596
その他	105	63	+42	+66.7%	31	△15	74	+58
調整額	△39	△39	0	—	△22	+5	△16	△5
合計	350,430	282,808	+67,622	+23.9%	223,667	+37,274	126,763	+30,347

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2022年度 1-9月実績	2021年度 1-9月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-6月実績	対前年度 増減額	2022年度 7-9月実績	対前年度 増減額
タイヤ	33,738	41,161	△7,422	△18.0%	27,332	△555	6,405	△6,867
営業利益率	10.5%	16.2%	△5.7%	—	13.4%	—	5.5%	—
自動車部品	△2,346	△1,497	△849	—	△1,354	△415	△992	△434
営業利益率	△7.8%	△5.2%	△2.6%	—	△6.9%	—	△9.4%	—
その他	5	11	△5	△54.5%	△2	△18	8	+12
調整額	△5	△11	5	—	△3	+4	△2	+1
合計	31,391	39,663	△8,272	△20.9%	25,972	△985	5,419	△7,286

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

# 2022年度第3四半期累計 所在地別セグメント情報

(百万円)

売上高	2022年度 1-9月実績	2021年度 1-9月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-6月実績	対前年度 増減額	2022年度 7-9月実績	対前年度 増減額
日本	72,651	70,076	+2,575	+3.7%	45,617	△1,835	27,034	+4,411
北米	227,674	168,847	+58,827	+34.8%	147,117	+38,082	80,556	+20,744
その他	50,104	43,884	+6,220	+14.2%	30,932	+1,028	19,172	+5,191
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	350,430	282,808	+67,622	+23.9%	223,667	+37,274	126,763	+30,347

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2022年度 1-9月実績	2021年度 1-9月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 1-6月実績	対前年度 増減額	2022年度 7-9月実績	対前年度 増減額
日本	14,586	22,506	△7,919	△35.2%	13,175	△2,570	1,411	△5,349
北米	13,127	12,801	+326	+2.5%	10,426	+2,321	2,701	△1,995
その他	3,637	3,243	+393	+12.1%	2,567	△142	1,069	+536
消去または全社	39	1,111	△1,072	△96.5%	△196	△594	236	△477
合計	31,391	39,663	△8,272	△20.9%	25,972	△985	5,419	△7,286

1. 2022年度 第3四半期実績

**2. 2022年度 通期業績予想**

3. トピックス

(百万円)	2022年度 通期予想	2021年度 通期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 通期予想 (前回)	対前回予想 増減額	2022年度 10-12月予想	対前年度 増減額
売上高	500,000	393,647	+106,352	+27.0%	500,000	±0	149,569	+38,729
営業利益	40,000	53,080	△13,080	△24.6%	50,000	△10,000	8,608	△4,808
営業利益率	8.0%	13.5%	—	—	10.0%	—	5.8%	—
経常利益	53,000	55,909	△2,909	△5.2%	60,000	△7,000	7,711	△6,416
当期純利益	50,000	41,350	+8,649	+20.9%	53,000	△3,000	5,231	△7,252

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株あたり 年間配当金	80円	76円	+4円
米ドル	130円	110円	+20円
ユーロ	137円	130円	+7円

中計'21  
重要経営指標

連結営業利益率 **14%超**

配当方針 (配当性向) **30%以上**

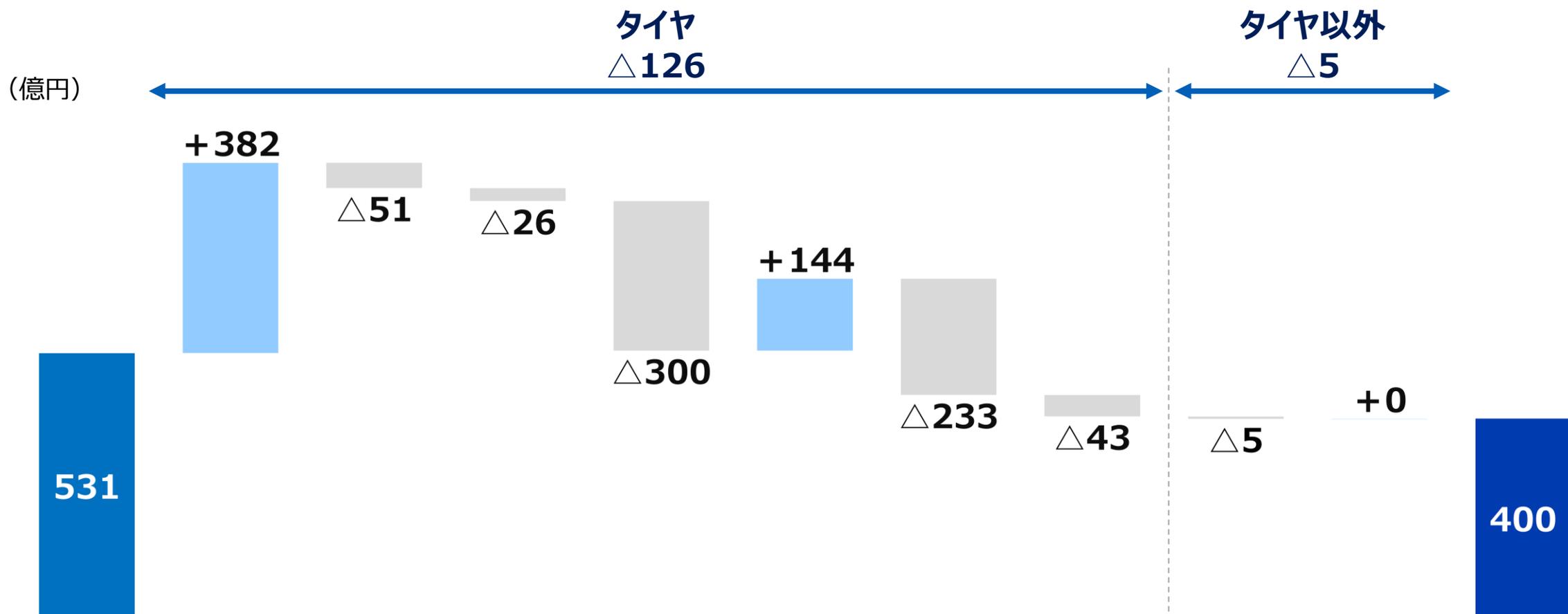
通期為替感応度

(営業利益ベース、1円の円安につき)

米ドル **7.0億円/年**

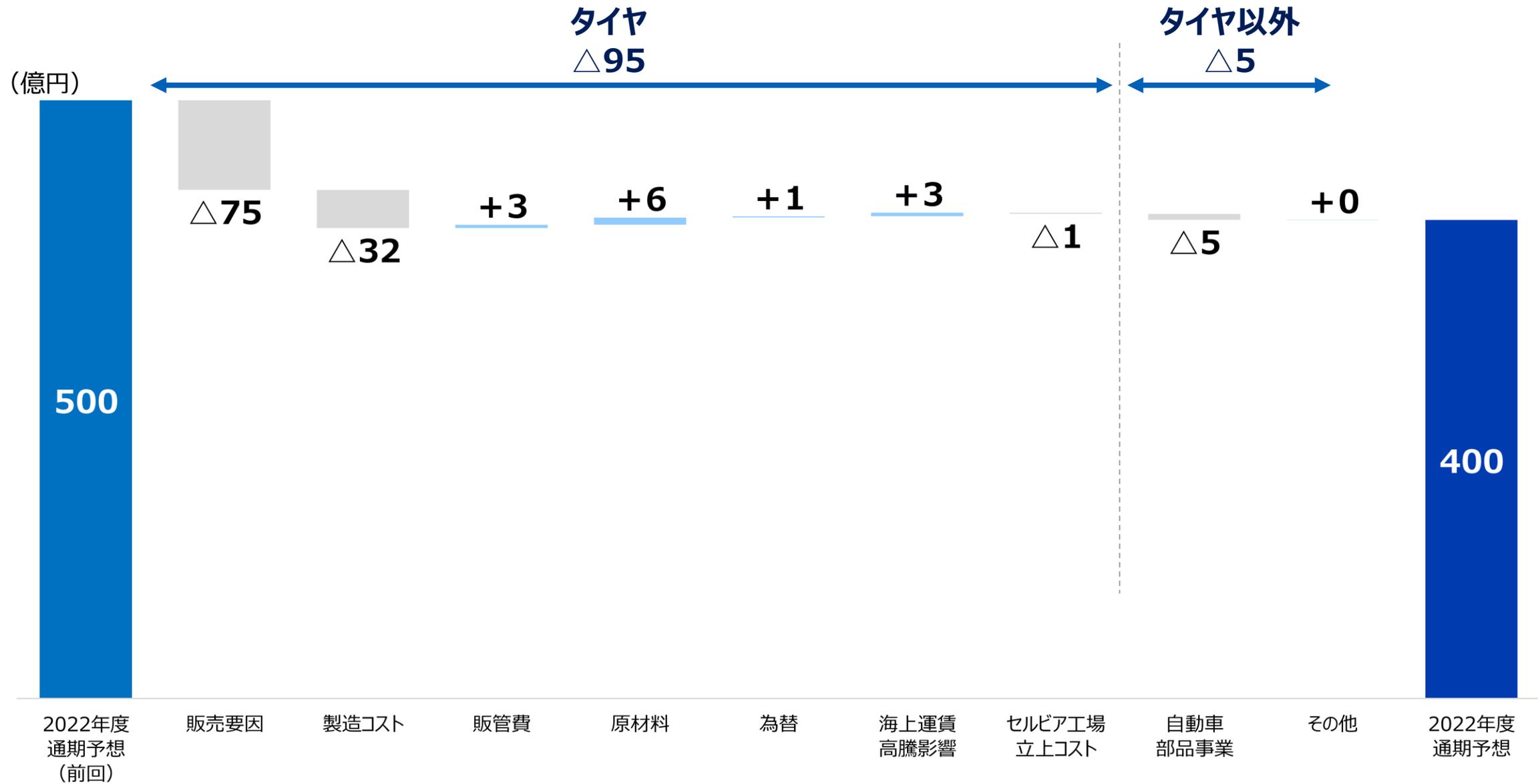
ユーロ **1.0億円/年**

# 2022年度通期 営業利益増減要因予想（前年度比）



	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃高騰影響	セルビア工場立上コスト	自動車部品事業	その他	合計
2021年度通期実績										531
2022年度通期予想										400
上期実績	+266	$\Delta 28$	$\Delta 13$	$\Delta 142$	+55	$\Delta 133$	$\Delta 11$	$\Delta 4$	$\Delta 0$	$\Delta 10$
7-9月実績	+63	$\Delta 13$	$\Delta 5$	$\Delta 78$	+35	$\Delta 57$	$\Delta 12$	$\Delta 4$	+0	$\Delta 73$
10-12月予想	+53	$\Delta 9$	$\Delta 8$	$\Delta 80$	+55	$\Delta 43$	$\Delta 20$	+4	+0	$\Delta 48$

# 2022年度通期 営業利益増減要因予想（前回予想比）



(百万円)	2022年度 通期予想	2021年度 通期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 通期予想 (前回)	対前回予想 増減額	2022年度 10-12月予想	対前年度 増減額
<b>売上高</b>								
タイヤ	457,000	354,641	+102,358	+28.9%	456,000	+1,000	136,885	+36,213
自動車部品	43,000	38,979	+4,020	+10.3%	44,000	△1,000	12,750	+2,587
その他	0	79	△79	—	0	±0	△105	△121
調整額	0	△51	+51	—	0	±0	39	+51
合計	500,000	393,647	+106,352	+27.0%	500,000	±0	149,569	+38,729

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

	2022年度 通期予想	2021年度 通期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 通期予想 (前回)	対前回予想 増減額	2022年度 10-12月予想	対前年度 増減額
<b>営業利益</b>								
タイヤ	42,500	55,089	△12,589	△22.9%	52,000	△9,500	8,761	△5,166
営業利益率	9.3%	15.5%	—	—	11.4%	—	6.4%	—
自動車部品	△2,500	△2,008	△491	—	△2,000	△500	△153	+358
営業利益率	△5.8%	△5.2%	—	—	△4.5%	—	△1.2%	—
その他	0	14	△14	—	0	±0	△5	△9
調整額	0	△15	+15	—	0	±0	5	+9
合計	40,000	53,080	△13,080	△24.6%	50,000	△10,000	8,608	△4,808

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

# 2022年度通期 所在地別セグメント情報

(百万円)

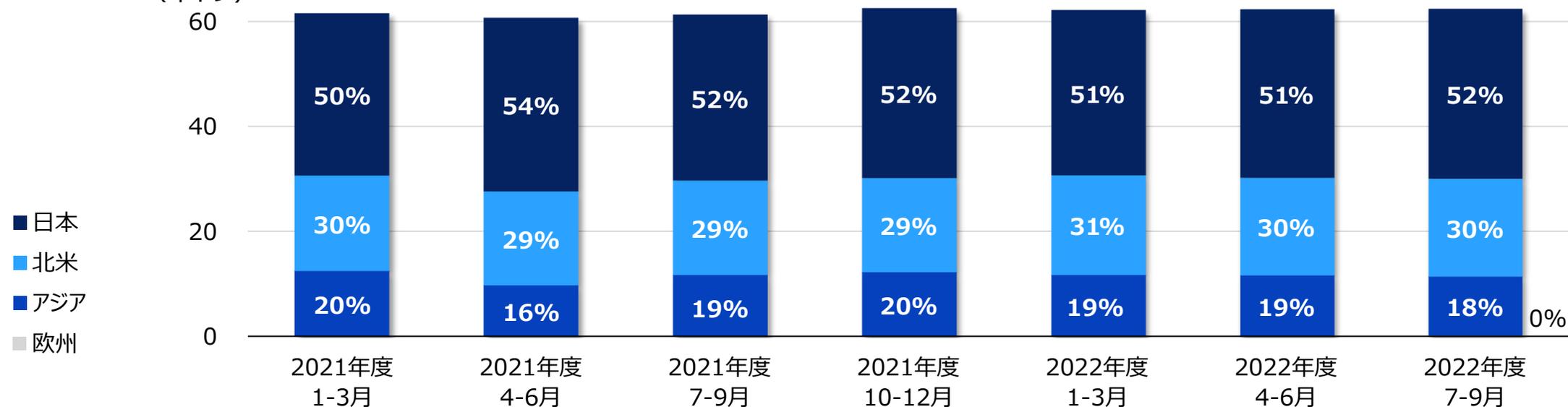
売上高	2022年度 通期予想	2021年度 通期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 通期予想 (前回)	対前回予想 増減額	2022年度 10-12月予想	対前年度 増減額
日本	116,072	104,168	+11,904	+11.4%	115,800	+272	43,421	+9,329
北米	316,003	229,318	+86,684	+37.8%	319,500	△3,496	88,329	+27,857
その他	67,923	60,161	+7,762	+12.9%	64,700	+3,223	17,819	+1,542
消去または全社	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	500,000	393,647	+106,352	+27.0%	500,000	±0	149,569	+38,729

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2022年度 通期予想	2021年度 通期実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2022年度 通期予想 (前回)	対前回予想 増減額	2022年度 10-12月予想	対前年度 増減額
日本	22,149	28,942	△6,793	△23.5%	27,400	△5,250	7,563	+1,126
北米	17,852	17,057	+794	+4.7%	19,700	△1,847	4,724	+468
その他	3,211	4,920	△1,709	△34.7%	2,300	+911	△425	△2,102
消去または全社	△3,213	2,159	△5,373	—	600	△3,813	△3,253	△4,300
合計	40,000	53,080	△13,080	△24.6%	50,000	△10,000	8,608	△4,808

## 地域別生産量構成比

(千トン)



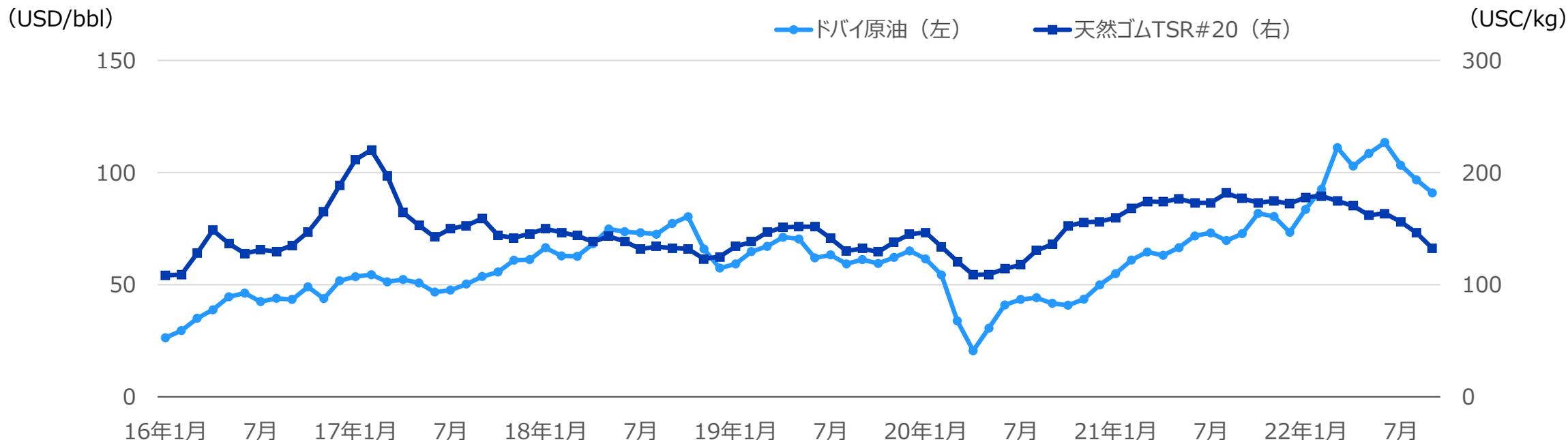
	2021年度						2022年度						2022年度 通期予想 (前回)
	1-3月	4-6月	7-9月	1-9月	10-12月	通期	1-3月	4-6月	7-9月	1-9月	10-12月 予想	通期予想	
日本	30.9	33.0	31.6	<b>95.4</b>	32.3	127.7	31.5	32.0	32.3	<b>95.8</b>	33.2	<b>129.1</b>	129.8
北米	18.2	17.9	17.9	<b>54.0</b>	17.9	71.9	19.0	18.6	18.6	<b>56.2</b>	17.2	<b>73.4</b>	78.1
アジア	12.4	9.7	11.7	<b>32.3</b>	12.2	46.0	11.7	11.6	11.3	<b>34.5</b>	11.4	<b>46.0</b>	46.2
欧州	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	<b>0.1</b>	1.0	<b>1.1</b>	2.7
<b>合計</b>	61.5	60.6	61.2	<b>183.3</b>	62.4	245.7	62.1	62.2	62.4	<b>186.7</b>	62.9	<b>249.5</b>	256.9
前年比率	107%	176%	108%	<b>123%</b>	98%	116%	101%	103%	102%	<b>102%</b>	101%	<b>102%</b>	105%

※前年同期間を100とした場合の前年比率

(%)

	2021年度						2022年度				2022年度 予想		2022年度 通期予想 (前回)
	1-3月	4-6月	7-9月	1-9月	10-12月	通期	1-3月	4-6月	7-9月	1-9月	10-12月	通期	
国内外新車	103	210	76	<b>112</b>	86	<b>104</b>	87	95	144	<b>105</b>	128	<b>111</b>	111
国内市販	108	105	97	<b>103</b>	103	<b>103</b>	102	96	111	<b>103</b>	109	<b>105</b>	105
海外市販	101	133	87	<b>104</b>	102	<b>103</b>	95	97	105	<b>99</b>	92	<b>97</b>	99
北米	125	133	93	<b>114</b>	104	<b>111</b>	107	108	104	<b>106</b>	101	<b>105</b>	110
欧州	74	163	76	<b>91</b>	123	<b>97</b>	81	70	94	<b>81</b>	71	<b>79</b>	76
東南アジア	76	92	46	<b>68</b>	66	<b>68</b>	78	108	139	<b>104</b>	65	<b>94</b>	88
合計	102	135	87	<b>105</b>	99	<b>103</b>	95	97	111	<b>101</b>	101	<b>101</b>	102

## ドバイ原油・天然ゴムTSR#20価格推移 (SICOM)



## 価格変動影響額 (営業利益ベース)

(億円)	2021年度						2022年度				2022年度 通期予想	2022年度 通期予想 (前回)
	1-3月	4-6月	7-9月	1-9月	10-12月	1-12月	1-3月	4-6月	7-9月	1-9月		
天然ゴム	△6	△12	△16	△34	△13	△47	△1	△2	+4	+1	+7	△1
石化品	+4	△19	△43	△58	△52	△110	△39	△44	△50	△133	△190	△198
その他原材料	+1	△7	△10	△16	△17	△33	△30	△26	△32	△88	△116	△107
<b>合計</b>	△2	△37	△70	△109	△81	△190	△70	△72	△78	△220	△300	△306

## 設備投資

**2022年度計画**

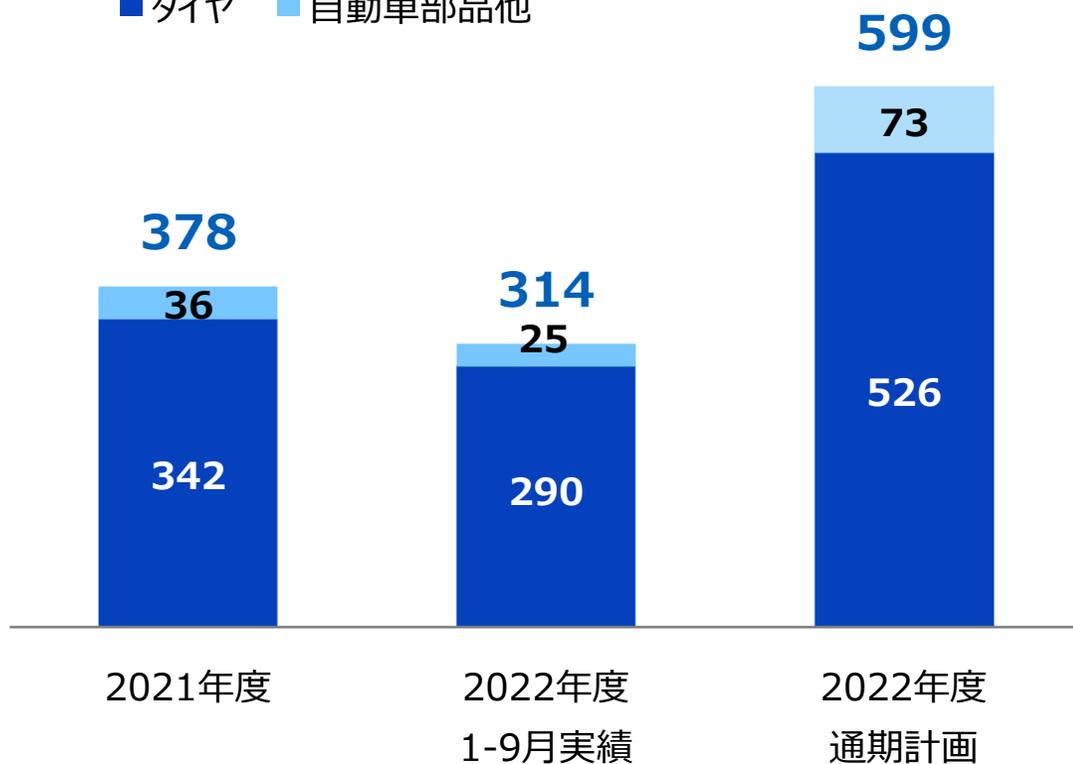
**設備投資額：599億円**

---

第3四半期時点実行率 = **52.5%**  
(内、タイヤ：55.1%/自動車部品他：33.9%)

(億円)

■ タイヤ ■ 自動車部品他



## 減価償却費

**2022年度計画**

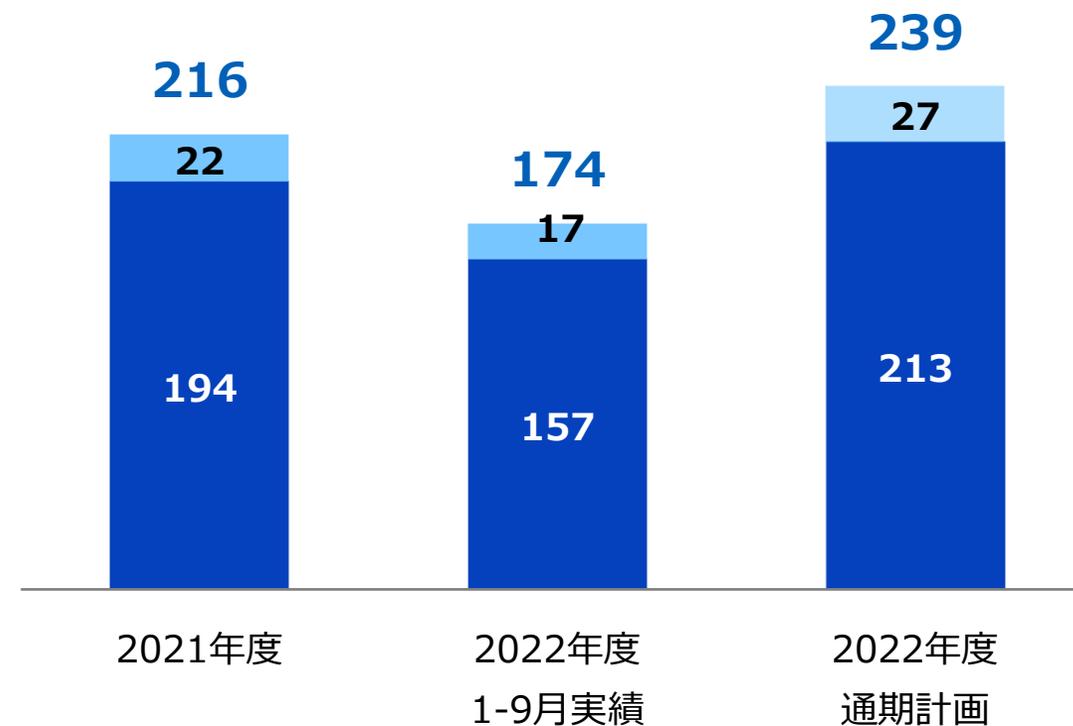
**減価償却費：239億円**

---

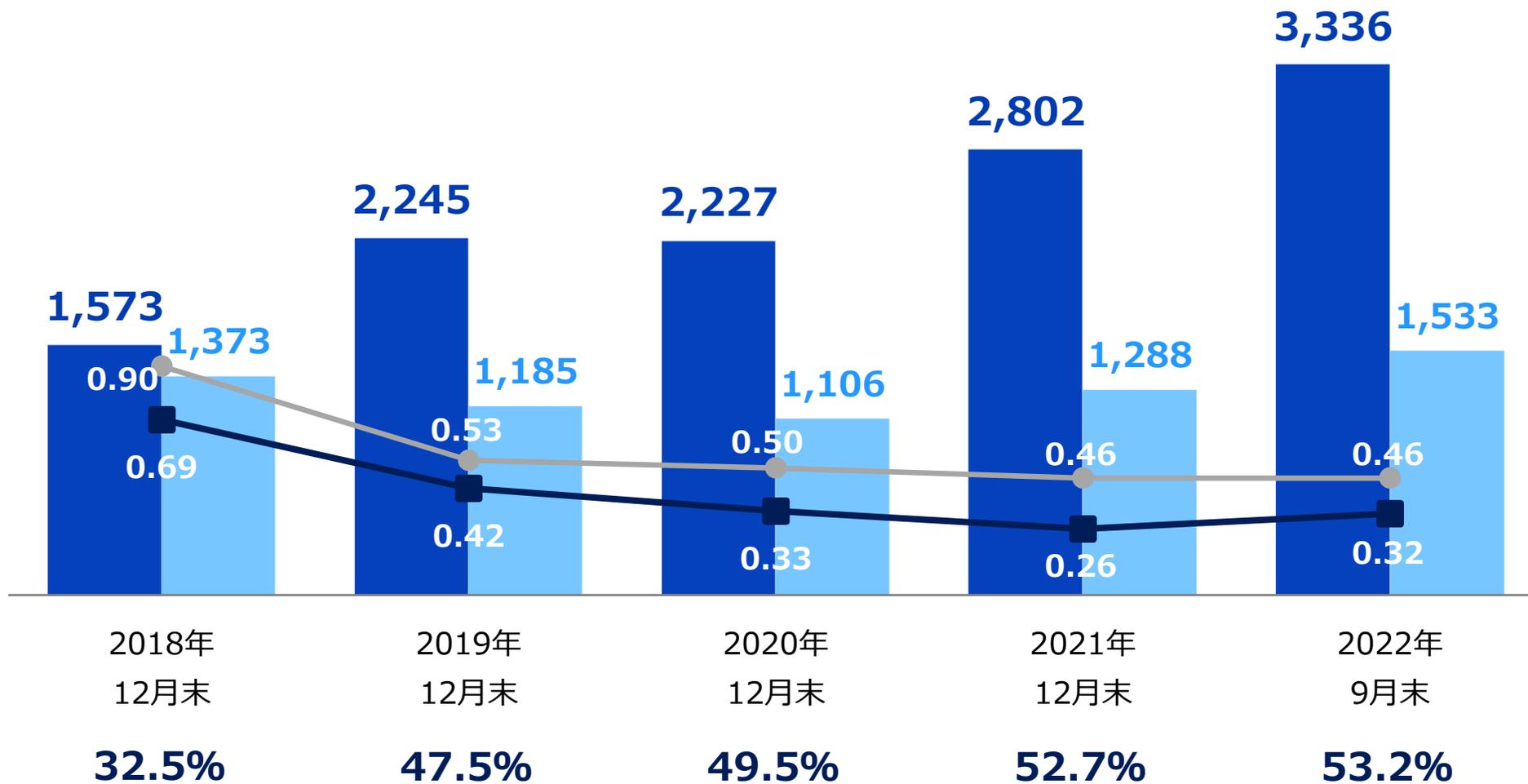
第3四半期時点計上率 = **72.7%**  
(内、タイヤ：73.6%/自動車部品他：64.1%)

(億円)

■ タイヤ ■ 自動車部品他



■ 純資産 (億円)      ■ 有利子負債残高 (億円)  
● D/ELシオ (倍)      ■ ネットD/ELシオ (倍)



1. 2022年度 第3四半期実績

2. 2022年度 通期業績予想

**3. トピックス**

8月9日（現地時間）、初出荷

→年内は需要旺盛な米国へ優先供給



初出荷の様子



出荷された商品

500万本体制確立（2023年度下期）に向けて、生産設備を整備

- 2022年12月に主要設備が本格稼働
- 顧客や関係者を招待し開所式典を12月に開催予定



フル生産体制の確立に向けて準備を進行中



## 2022年度グッドデザイン賞を当社製タイヤ3商品が同時受賞



GOOD DESIGN  
AWARD 2022



独自のパターンデザイン技術が使用環境やニーズの変化を的確に捉え、時代にマッチした製品開発を行なう姿勢を具現化したものとして評価

**OPEN COUNTRY A/T III** **TRANSPATH mp7** **M937**

- SUV向けオールテレーンタイヤ **OPEN COUNTRY A/T III**  
(2022年7月発売)
- ミニバン専用タイヤ **TRANSPATH mp7**  
(2022年1月発売)
- コミュニティバス専用スタッドレスタイヤ **M937**  
(2022年9月発売)

## PROXESが トヨタ自動車の新型「クラウン」に採用



トヨタ自動車「クラウン」

**PROXES Sport**

各生産拠点で製造されたタイヤは現地販売会社を通じて市場に供給

全米のWholesaler/Dealer網を通じて商品を展開 (Sell-out)



セルビア工場



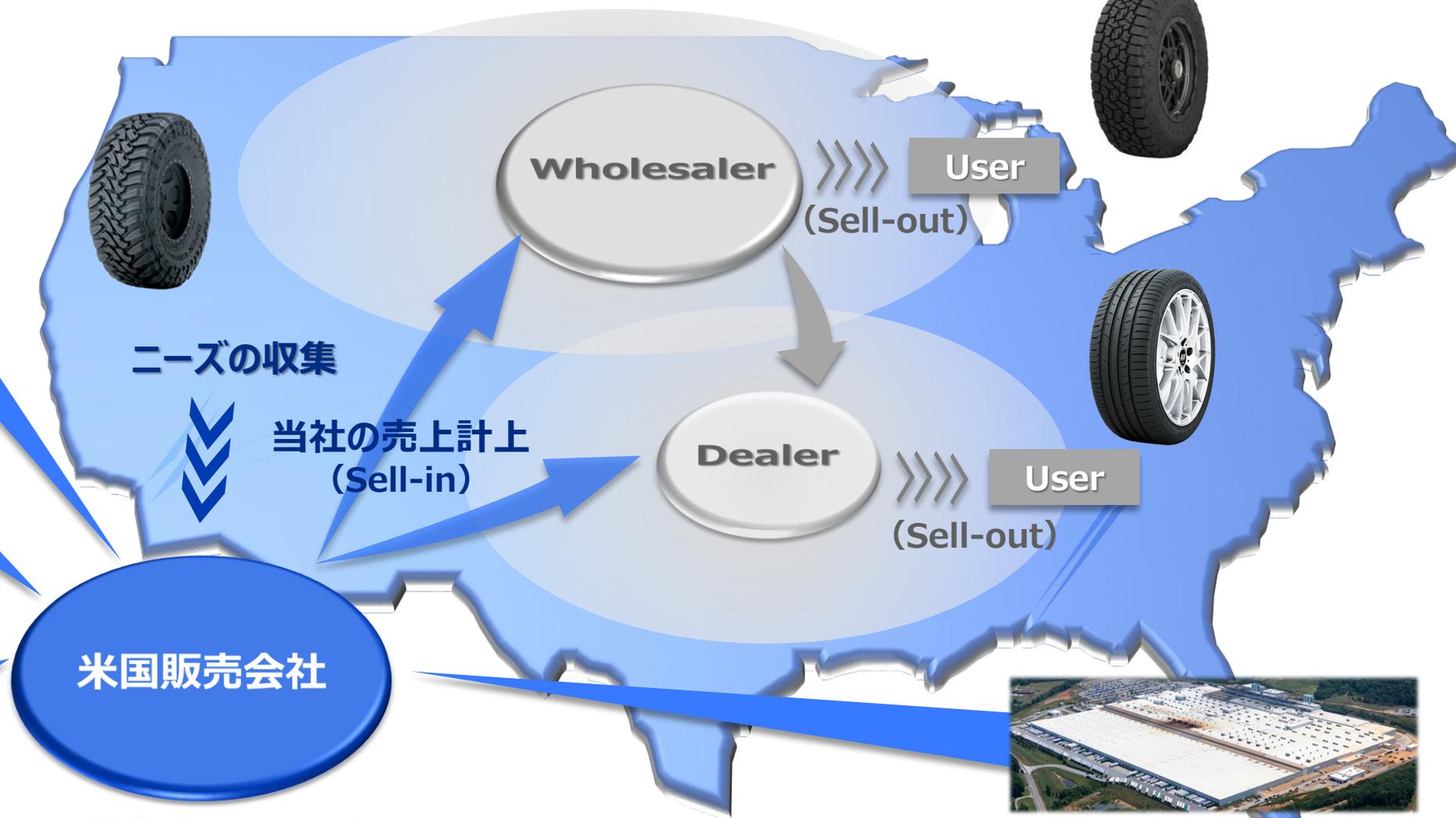
仙台工場



マレーシア工場



アメリカ工場



全米の販売網への商品供給

(百万円)	2022年度			
	1-3月	4-6月	7-9月	1-9月累計
55棟	—	—	—	—
99棟	—	—	—	—
諸費用	136	93	122	352
補償費用等	—	—	—	—
<b>合計</b>	136	93	122	<b>352</b>

2015年度 累計	2016年度 累計	2017年度 累計	2018年度 累計	2019年度 累計	2020年度 累計	2021年度 累計
23,063	17,034	608	8,794	—	568	—
7,386	35,068	12,281	2,360	—	1,698	—
12,104	10,418	3,156	4,858	3,365	3,507	989
4,119	4,260	2,590	1,516	645	1,406	94
46,674	66,781	18,637	17,529	4,010	7,178	1,083

注) 55棟 : 2015年3月13日公表分、99棟 : 2015年4月21日公表分

## 項目内訳

<b>2022年度 7-9月実績</b>	55棟および99棟における交換用の免震製品代金や改修工事費用 : 計上なし 諸費用 (主として免震ゴム対策本部人件費等) : 122百万円計上
<b>2022年度 10月以降</b>	現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用がある場合には、対処進行状況等によって追加計上する可能性あり
<b>交換・改修の実績 (9月末日現在)</b>	55棟 (G039) : 54棟着工 (うち製品交換の完了 54棟) 99棟 (G039以外) : 97棟着工 (うち製品交換の完了 97棟)

再発防止策の進捗状況につきましては、四半期ごとに当社ホームページでの公表を継続して参ります。

IR情報 一覧 >

- 2022.10.18 更新情報 ▶ IR カレンダーを更新致しました。
- 2022.09.30 更新情報 ▶ 2021年12月期アニュアルレポート（英文）（12,621KB） PDF
- 2022.08.29 適時開示 ▶ 連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ（304KB） PDF

新型コロナウイルス感染拡大に関する対応 >      メールニュース配信登録 >

重要なお知らせ >      **免震ゴム/防振ゴム問題への対応について >**

## 免震ゴム／防振ゴム問題への対応について

このたびの免震ゴム問題、および防振ゴム問題により、多くの関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしていますことを心より深くお詫び申し上げます。一日も早くご負担の解消、問題の解決を実現できるよう真摯に尽力してまいります。これから、一人ひとりが固い意志を持って「再発防止の徹底と継続」に取り組み、そして、「世の中に求められる企業」に生まれ変わるよう、グループをあげて再生を果たしてまいります。

新着情報

- 2022.08.10 ページ更新 ▶ 免震ゴム問題の「交換・改修に向けた進捗について」を更新しました

- 免震ゴム/防振ゴム問題への対応について
  - ▶ 信頼回復に向けて
  - ▶ 免震ゴム問題への対応について
  - ▶ 防振ゴム問題への対応について
  - ▶ 関連プレスリリース
  - ▶ **進捗報告**

## 進捗報告

### ● 再発防止策の進捗について（2022年8月10日公表分）

- 品質保証改善並びにコンプライアンス啓発強化
  - 全事業にわたる全社的監査の継続 >
  - CI明石工場のコミュニケーション活動 >
  - 品質保証・管理体制の構築 >
  - 生産拠点における作業・監督体制/教育の継続 >
  - コンプライアンス強化徹底 >
- コーポレート基盤の継続的改善、充実
  - ガバナンスの強化徹底 >
  - 不正行為の早期探知、危機管理の実践 >
  - 社員教育の徹底と企業風土の抜本的改革 >

免震ゴム/防振ゴム問題への対応について → 進捗報告  
( <https://www.toyotires.co.jp/responsibility/progress/> )

**TOYO TIRES**

# 2022 SCORE BAJA 400

総合優勝



**OPEN COUNTRY M/T-R**

# ***TOYO TIRES***

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。